



共に創り、共に歩む

Leaps to the Future

Leap to the Future

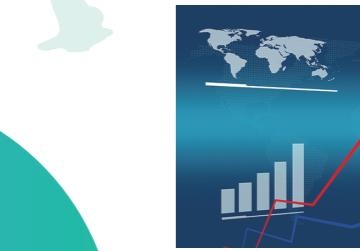
あした 未 来 を 創 造 す る 、 医 療 の 現 場 か ら

私たち
は医療機関が地域の
あした
「未来」をまもるためカイゼンを超えた
「Leap(=飛躍)」を支援します。

経営にかかる膨大なデータを徹底的に分析し(実証性)、
医療政策の先をよみ(先見性)、
現場の医療スタッフと共に汗を流し(専門性)、
医療現場から病院を、地域を、そして日本を変えていくお手伝いをします。



私たち
は医師、看護師、薬剤師などで構成される
医療の現場を知るコンサルタントとして、医療現場の
当事者意識でカイゼンと向き合う「実行支援型の
サービス」を提供します。

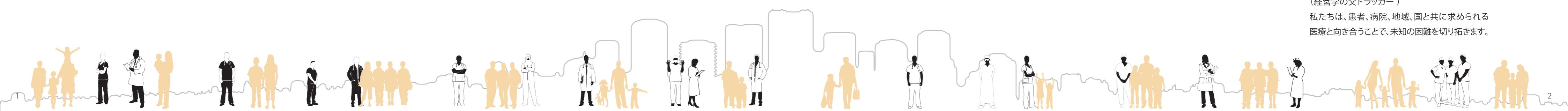


私たちは、ベンチマークを起点とした「実証分析」
で課題の本質を見つけ可視化します。病院は
ベンチマークによる自院の「立ち位置」から、
るべき姿へとカイゼンを進めることができます。



「変化はコントロールできない。できることは、
その先頭に立つことだけである」
(経営学の父ドラッカー)

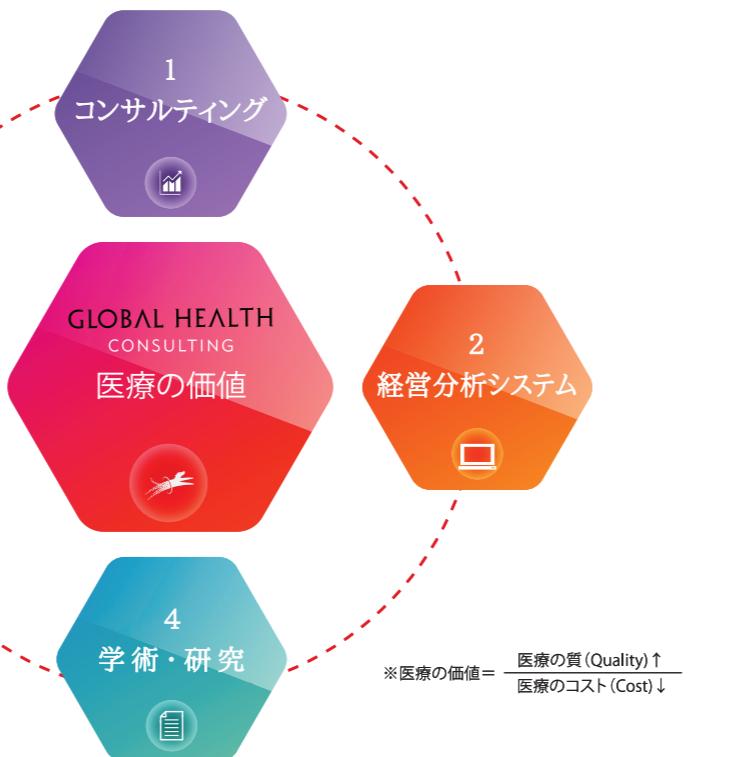
私たちは、患者、病院、地域、国と共に求められる
医療と向き合うことで、未知の困難を切り拓きます。



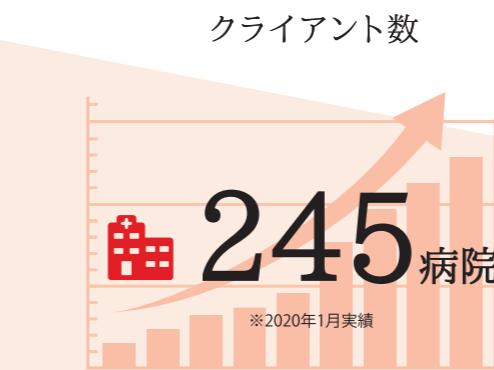


急性期病院の 「医療の価値」を向上させる 4つの事業

- ① 医療ビッグデータを駆使し、医療の現場を熟知したコンサルタントによる実行支援型のコンサルティング
 - ② コンサルティングノウハウを凝縮させた経営分析システム
 - ③ 政策と病院経営に特化したメディア・セミナー
 - ④ 国内外の最新情報に基づく学術研究
- 実証性、専門性、先見性に基づく4つの主力事業で、急性期病院の「医療の価値」を向上させます



10年間でクライアント数は
約10倍に増加



主に地域の基幹病院を
サポートしています



Leap(飛躍)する実行支援型
コンサルティング



基幹病院の支援を
経営分析システムでも



DPC病院シェアトップの
DPC分析ベンチマークシステム



病院経営のプロが
認めるメディア



進化し続けるベンチマーク分析



GHCは、米国流の病院経営改善の実践的な手法である「ベンチマーク」を日本に初めて導入しました。めまぐるしく変わる医療環境の未来をみすえ、病院の経営に資する革新的なサービスの開発と提供に努め進化し続けます。
コンサルティングサービスでは、経営課題に応じた最適なサービスを提供します。

地域医療構想下のビジョン・戦略の策定

課題

- ✓ 病床機能戦略（病床機能分化）
- ✓ 病院統合再編
- ✓ 病院の働き方改革

サービスメニュー

急性期機能向上

課題

- ✓ DPC 特定病院群（基礎係数対策）
- ✓ 医療・看護必要度の重症度割合適正化

サービスメニュー

増収対策

課題

- ✓ 戰略的集患（DPC 病院の地域連携）
- ✓ チーム医療向上（加算対策）
- ✓ 手術室効率化

サービスメニュー

患者フロー最適化による医療の質向上と業務効率化

課題

- ✓ クリニカルパス作成・見直し
- ✓ PFM（入院サポートセンター開設支援など）
- ✓ 適正な病床機能の運営（ベッドコントロール）

サービスメニュー

コスト削減

課題

- ✓ 医療材料コスト削減
- ✓ 委託コスト削減

サービスメニュー

人材の育成・組織強化

課題

- ✓ 病院のマネジメント人材の育成支援（経営分析トレーニング）
- ✓ 病院経営の戦略組織構築（経営戦略室の立ち上げ）

サービスメニュー

と共に Leap(飛躍)してきた クライアント病院

多様な病院のニーズに合った
経営改善を実現

継続年数の長さは、満足と信頼の証

コンサルティング初年度から
改善効果を実感

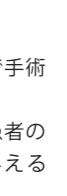
社会医療法人財団
慈泉会 相澤病院

長野県松本市
病床数 460 床
継続年数 19 年

リハビリ・病床機能に
関する研究支援

ポイントと効果

- 手術室運用改善で手術件数が 800 件増加
- 早期リハビリが患者の「医療の質」に与える影響を分析
- 救命救急隊と関係再構築、対応病床 62 床



最高経営責任者
相澤孝夫先生

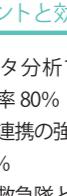
社会福祉法人恩賜財団済生会支部
福岡県済生会 福岡総合病院

福岡県福岡市
病床数 380 床
継続年数 11 年

手術室改善・地域連携

ポイントと効果

- データ分析で手術室の稼働率 80%
- 早期リハビリが患者の「医療の質」に与える影響を分析
- 救命救急隊と関係再構築、対応病床 62 床



総長・名誉院長
岡留健一郎先生

足利赤十字病院
栃木県足利市 / 病床数 540 床

地域連携・分析訓練

ポイントと効果

- 診療科別バス改善（医療資源投入金額など）
- 「病院職員自ら」がデータを活用した分析体制の構築
- 医療連携状況の可視化および連携体制の構築

三豊総合病院

香川県観音寺市 / 病床数 478 床

機能分化

ポイントと効果

- 地域医療を見据えた病院の 5 年マスター プランを作成
- 地域包括ケア病棟の疾患別病床管理方法を提案
- 機能分化の促進に成功

愛媛県立中央病院

愛媛県松山市 / 病床数 827 床

機能分化

ポイントと効果

- 県立中央病院としてるべき病床数をシミュレーション
- 将来の医療需要を基に成長分野と削減分野を予測
- 基礎係数分析から在院日数を短縮できる疾患を特定

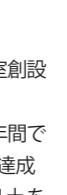
小牧市民病院

愛知県小牧市
病床数 520 床
継続年数 13 年

DPC 関連支援

ポイントと効果

- 年間約 4 億円の改善効果を達成
- 1 年間で入院期間 II 超の患者が 5 % 減少
- 急性期機能を充実させ 1 日単価 7000 円向上



小牧市病院事業管理者
末永裕之先生

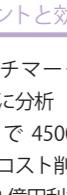
諫訪中央病院

長野県茅野市
病床数 360 床
継続年数 9 年

コストマネジメント

ポイントと効果

- 多職種の経営戦略室創設を実現
- DPC 対応により 1 年間で 4200 万円の改善を達成
- 半年で 4500 万円の材料コスト削減を実現
- 院内全体の改善風土を醸成



院長
吉澤徹先生

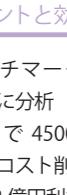
旭川赤十字病院

北海道旭川市
病床数 520 床
継続年数 13 年

コストマネジメント

ポイントと効果

- ベンチマークで自院を的確に分析
- DPC の仕組みを大学病院内へ周知
- 各診療科の医師のデータを見る目が激変



院長
牧野憲一先生

東京医科大学病院

東京都新宿区 / 病床数 904 床

診療科別ヒアリング

ポイントと効果

- 4 診療科で 1 年間に換算して 7900 万円分の增收
- DPC の仕組みを大学病院内へ周知
- 各診療科の医師のデータを見る目が激変

*継続があった年の継続年数になります。相澤病院は、グローバルヘルスコンサルティング米国からのクライアントになります。



データとITは医療改革を支える両輪



2
経営分析システム

高度急性期病院のための ～4割が導入する経営支援サービス～



病院ダッシュボードχ

<http://dashboard.ghc-j.com/>

病院経営の課題に無限のχをもたらす「病院ダッシュボードχ(カイ)」は、病院経営の専門コンサルティング会社が開発した、経営改善のポイントが瞬時に分かる、多機能型経営分析サービスです。DPC、地域連携、マーケット、レセプト、手術台帳、財務といった多様なデータと大量のベンチマークデータをもとに、経営状況を可視化し、経営課題の解決まで、ご支援いたします。

充実の分析機能

- ・コンサルティングノウハウを凝縮
- ・院内情報の可視化
- ・独自のベンチマーク分析



※「病床機能」は、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟向けの分析サービスとER、ICU、HCU向けの分析サービスを提供しています。

使いこなせる環境

- ・充実したサポート体制
- ・お客様満足を追求
- ・コンサルタントと連携した支援
- ・経営課題解決型ユーザ会を定期的に開催

「病院ダッシュボードχ」でLeap(飛躍)した成功者たち

	病院名	感想と活用ポイント
1	旭川赤十字病院	使いやすいマーケット分析で集患対策を推進
2	松阪市民病院	素人でも使いやすい優秀なシステム
3	聖フランシスコ病院	バス作成評価への活用 チーム医療を推進
4	社会医療法人 生長会 府中病院	DPC II群へのステップアップに貢献
5	済生会福岡総合病院	II群維持に大躍進
6	岩手県立中央病院	無駄のない深い分析へ誘導してくれるツール
7	佐賀県医療センター好生館	短い分析工数で課題を解決
8	埼玉石心会病院	目の前の課題を発見し、将来像を模索
9	製鉄記念室蘭病院	気がついたら DPC 特定病院群
10	聖隸浜松病院	「月間手術件数」過去最高を更新！
11	社会医療法人 宏潤会 大同病院	トップが活用し院内の経営意識が向上
12	社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	地域包括ケア新設に入院短縮の糸口

DPC分析 ベンチマークシステム

EVE



日本初のベンチマークシステムの思想を受け継ぎ、DPC 対象病院の約半数が導入する DPC 分析ベンチマークシステム。
さまざまな切り口で重要な経営指標を把握できます。
※EVE は MDV 社との共同開発商品

出来高病院向け日本病院会 戦略情報システム

JHastis

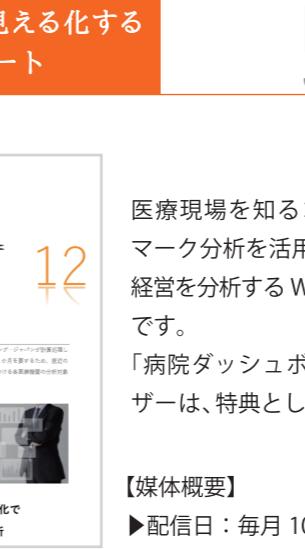
Japan Hospital Association



日本病院会が出来高病院向けに提供している、経営分析レポートです。
当社では、システム開発や、レポートの分析サポートを実施し、主要経営指標や加算算定状況が毎月わかるベンチマーク分析や診療報酬改定情報等の役立つ情報を掲載しています。
2020 年度からは DPC データも活用し、「JHastis2.0」として、増患対策や病床機能別分析等も展開するサービスへリニューアルしています。

<http://www.hospital.or.jp/jhastis/>

LEAP
JOURNAL



<https://leapjournal.ghc-j.com/>

DPC／PDPS 検索ツール

無料 DPC 検索ソフト
ぽんすけ



DPC/PDPS の新・旧制度を比較することができる分析ツール（無償で誰でもご利用いただけます）。
非ネット環境でも利用でき、面倒な診療報酬の計算がポンポンできます。

<https://www.ghc-j.com/it/ponsuke/>



変化の先頭に立て



病院経営の変化の先頭に立つために必要な情報を、
GHCは独自のメディアや各種セミナーを通じてご提供します。

Gem Med



病院経営に携わるすべての人たちに向けて、どこよりも早く、正確で、専門的なニュースをお届けする、医療系ニュースサイトとメールマガジン。

【2020年度診療報酬改定答申3】400床以上病院の地ケア病棟、「急性期病棟からの転換」6割以上で、入院料1割減削のペナルティ

2020.2.7. (金)

● 医療提供体制改善 ● ピックアップ ● 医療計画・地域医療連携

お伝えしているとおり、2020年度診療報酬改定答申が発表となり、2月7日の午後から午後遅くまで、各病院や医療機関等に見送る会合が行われました。Gem Medでは、各病院に合わせて内容や趣旨を基準、算定基準などを詳しく解説していきます（2020年度診療報酬改定答申の記録記事は二つとも「[【医療報酬改定】](#)とごらん、「[【医療報酬改定】](#)」）。

本稿では、非常に大きな差異が行われる「地域包括ケア病棟入院料」、「地域包括ケア病棟管理料」に焦点を合わせます。



【媒体概要】 ▶配信日：ニュースサイト・毎営業日 メールマガジン・週刊（営業日のある週初）
▶編集主幹：鳥海和輝

<https://gemmed.ghc-j.com/>

GHC Seminar



国内外のオピニオンリーダーによる講演や診療報酬改定の最新情報など、多様な切り口で病院経営に有用なセミナーを開催

<http://www.ghc-j.com/event/seminar/>

書籍案内



日本人が知らない
日本医療の真実

著者：アキよしかわ
発行年：2010年
出版社：幻冬舎MC



患者思いの
病院がなぜ
つぶれるのか？

著者：渡辺さちこ
発行年：2009年
出版社：幻冬舎MC



日本医療
クライシス

著者：渡辺さちこ
アキよしかわ
共著
発行年：2015年
出版社：幻冬舎MC



日本がん格差
「医療の質」と「コスト」の経済学

著者：アキよしかわ
発行年：2017年
出版社：講談社

トップランナーと創造する医療の未来



GHCは国内外のトップランナーとの学術・研究活動や、社会貢献活動、最新の研究を反映させた新規事業構築などにも注力しています。

国 内

全国のがん診療連携拠点病院が集う「CQI 研究会 (Cancer Quality Initiative)」、回復期医療の研究会「回復期の医療と経営の質向上を考える会」のほか、自治体病院によるベンチマーク勉強会（ToCoM^(*)：東海地区、DoCoM^(*)：北海道地区、せや CoM^(*)：大阪地区）など、国内医療機関の事業や研究活動をサポートします。
※文中の「CoM」は「コンソーシアム」を表します。



海 外

GHCの原点は、医療経済学のメッカ「スタンフォード大学」。GHCは設立当初から、米国の大学やメイヨークリニックなどの医療機関と医療政策の共同研究をはじめ、米国の病院経営を研究し新規コンサルティングサービスの開発にも役立てています。





日本初の病院ベンチマーク分析から始まり、医療制度の先を



1995
アキよしかわが米国グローバルヘルスコンサルティング(米国GHC)設立

GHCの事業と
関連が深い
医療制度

※GHCの取り組みと関連が深い医療制度は、
同色の豆電球のアイコンがついています。

2004 March

株式会社グローバルヘルス
コンサルティング・ジャパン
(GHC-J)設立



2004 May

日本初のベンチマークシステム
「DAVE」リリース

2004 October

全国社会保険協会連合会との調査
研究事業スタート

DPCベンチマーク分析システム
「EVE」リリース(MDV社との共同
開発)
EVE

2006 August

DPCコスト分析システム「コスト
マトリックス」リリース(MDV社
との共同開発)
Cost Matrix

2007 December

CQI研究会(Cancer Quality
Initiative)第1回会合開催

2009 July

「看護必要度に関する研究」開始
(滋賀医科大学医学部付属病院
看護部と共同研究)

2008 June

ToCoM(東海地区自治体コンソ
ーシアム)第1回会合開催

米国スタンフォード大学と
共同研究

2012 May

次世代型経営支援サービス
「病院ダッシュボード」を
リリース

2010 January

DoCoM(北海道地区自治体病院
コンソーシアム)第1回会合開催

せや CoM(大阪周辺自治体病院
コンソーシアム)第1回会合開催

2014 December

米国メイヨークリニックと共同研究

2013 December

内科系学会社会保険連合の「内科系
技術についての診療報酬評価に
関する提案ver.1」に関する分析協力

クイーンズメディカルセンター研修

2015 February

2016 March

日本病院会と業務提携し、
出来高病院向け経営支援
レポート「JHastis」開発

2016 June

「病院スコープβ版」をリリース

2016

「重症度、医療看護必要度」の
Hファイルの提出がデータ提出
加算の算定要件になる

「特定内科診療(2014年度版)」
で定められた技術の実施が医療
機関群II群の実績要件になる

2017 June

「回復期の医療と経営の質向上を
考える会」第1回会合開催

2017 December

「病院ダッシュボードX」
リリース

走り続けた挑戦と進化の軌跡

患者にとって価値の高い医療を提供するために、医療現場は何をすべきか—創立当初からのこの追及が、国の先行く取り組みや診療報酬上の評価へとつながりました。



会社概要

会社名 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27-30 新宿イーストサイドスクエア5F
代表者 渡辺幸子
TEL 03-6380-2401(代表)
FAX 03-6380-2402
URL www.ghc-j.com
Mail info@ghc-j.com